



企業の農業参入にかかる 茨城県の取組について



2025年8月26日
茨城県農林水産部農業経営課 就農・農業参入支援室
(茨城県農業参入等支援センター)

茨城県の状況について

A topographic map of the Kuroki River basin. The map uses a color-coded elevation system: dark red for 600~1000m, brown for 200~600m, orange for 100~200m, light orange for 50~100m, and light green for 0~50m. Major rivers shown include the Kuroki River (黒川), Kuroki River (黒川), Kuroki River (黒川), and Kuroki River (黒川). Other rivers include the Kuroki River (黒川), Kuroki River (黒川), Kuroki River (黒川), and Kuroki River (黒川). Settlements and locations marked include 八溝山, 高峯山, 和尚山, 花園山, 久慈川, 那珂川, 廻沼, 加波山, 筑波山, 小貝川, 鬼怒川, 牛久沼, 霞ヶ浦, 北浦, 外浪逆瀬, and 利根川.

平坦な地形が広がっており、
耕しやすい土地

水戸市の気温

年平均14.1℃

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
気温(℃)	3.3	4.1	7.4	12.3	17.0	20.3	24.2	25.6	22.1	16.6	10.8	5.9

水戸市の降水量

年間1367.7mm

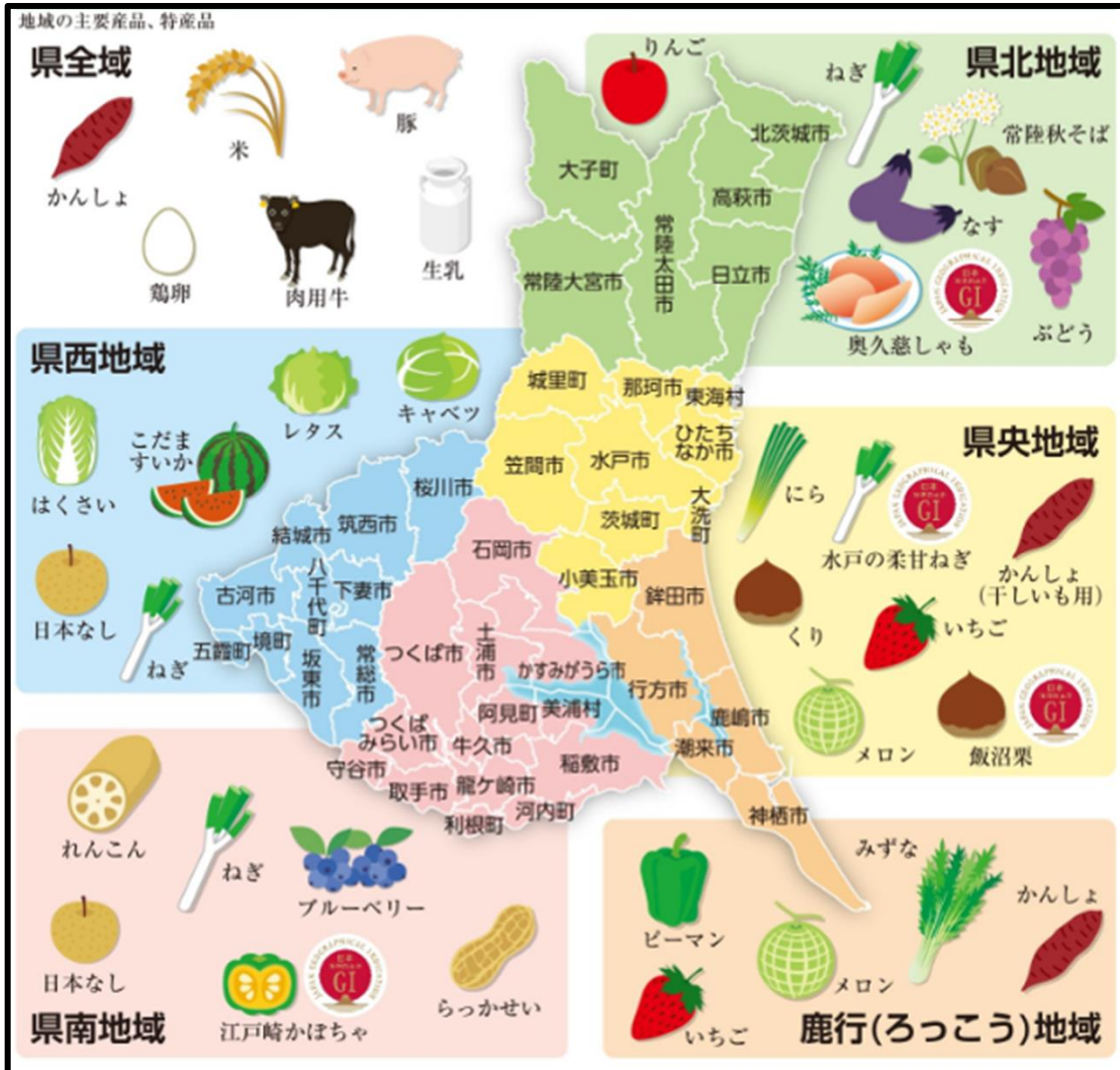
月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
降水量(mm)	54.5	53.8	102.8	116.7	144.5	135.7	141.8	116.9	186.3	185.4	79.7	49.1

温暖で災害も少なく、
農作物の育ちやすい気候

大消費地・東京に近く、 恵まれた立地

1. 茨城県の農業について

✓ 茨城県の農産物について



茨城県の地域別栽培作物
出典：関東農政局作成「関東農業マップ」

🌱 農業産出額全国第1位～第3位の作物が26品目あり、多種多様な作物の栽培が行われている。
(2023年生産農業所得統計による)

🌱 県全域でカンショ(サツマイモ)が広く育てられているほか、各地域ごとに特色のある作物が栽培されている。

🌱 東京中央卸売市場青果物取扱高は21年連続日本一
(2024年時点)



2023年茨城県の農業産出額全国第1位から3位の品目

1. 茨城県の農業について

☑ 担い手に関する本県農業の動向と方針について

(茨城農業の将来ビジョンより)

将来の担い手の確保、後継者不足

生産年齢人口の大幅な減少が見込まれ、十分な人材確保が難しくなることを予見

農業者の高齢化

農業者の主力層が徐々に高齢化の傾向

法人経営体が増加傾向

個人経営体が減少する中、法人経営体は増加傾向であり、
2050年には法人経営体数は現在の2倍以上に増加すると予想



意欲のある担い手が牽引する農業構造の実現

- ・経営者マインドを備えた意欲ある担い手の育成・確保
- ・農業経営の法人化の推進
- ・県外の農業法人等の参入及び県内外の異業種からの農業参入を促進

茨城農業の将来
ビジョンについて↓



<https://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/noseisaku/senryaku/2kai/kaku/230525agrivision.html>

2. 企業参入における本県での推進体制等について

☑ 茨城県農業参入等支援センターの概要

🌱 設立
2018年4月

🌱 事業概要

- ・農業経営に関する相談窓口
- ・専門家派遣
- ・企業誘致活動、参入支援
- ・その他各種セミナーの実施 など



🌱 組織体制

茨城県農林水産部農業経営課内に設置

就農・農業参入支援室長	1名
企業参入推進監	1名
農業参入推進監 (JA茨城県信連より)	1名
農業参入推進監 (JA全農いばらきより)	1名
その他職員	10名
→正職員7名(うち農業職3名)、会計年度任用職員3名	

企業参入事業担当→3名(企業参入推進監、正職員(事務)2名)



↑当センターで運営中のHP

2. 企業参入における本県での推進体制等について

☑ 企業参入支援までの道筋

エントリー依頼

1. 企業にエントリーフォームを案内

面談 &
事業計画作成支援

1. 対面またはWebで面談→事業計画や農地条件等聞き取り
2. 経営指標の提供など事業計画作成支援
3. その他情報提供

農地情報提供

1. 農地情報提供
2. 現地紹介（市町村との顔合わせを同時に行うこともあり）

市町村顔合わせ等

1. 市町村との顔合わせ
2. 地権者説明会のフォロー

相談企業参入

2. 企業参入における本県での推進体制等について

☑ 茨城県の企業参入状況について

相談件数

年間100件以上(フェア参加などでアプローチした企業も含む)

参入企業数

年間20件程度(市町村等から参入の情報提供があったものも含む)

参入地域の特徴

- 🌱 県南・県央地域が多い
- 🌱 大規模個人農家が増えている県西・鹿行地域は企業参入が少ない

営農類型の特徴

- 🌱 露地野菜が参入企業の約半数を占める。中でも「カンショ(サツマイモ)」栽培が多い
- 🌱 この他、施設栽培、普通作、果樹、その他の順で多くなっている

最近の相談傾向

- 🌱 大規模農地での営農についての相談
(例:当初5~10haで参入し、将来30ha以上規模拡大としたい・施設園芸で5ha前後の農地が必要等)
- 🌱 農福連携やソーラーシェアリングなど、農業×異業種についての相談
- 🌱 事業承継についての相談(例:農業のノウハウが不十分であるため、事業承継にて農業事業に参入したい等)

2. 企業参入における本県での推進体制等について

☑ 茨城県農業参入等支援センターの取組について



2. 企業参入における本県での推進体制等について

☑ 取組① 相談企業の掘り起こし

当センターHP活用

HPのURLをメール、チラシ、広報誌などに掲載することで、当センターの支援内容を県内全域に周知。

各機関との連携

市町村巡回、金融機関や農業資材メーカー等業界団体への訪問を通して関係を構築。
企業の紹介を依頼することで連携を図っている。

セミナー、フェア等での接触

農林水産省主催の農業参入フェアへの出展、セミナーの実施、農業資材の展示会など各種イベントへの参加を通して、企業へ接触。



東京会場は茨 ひより
(茨城県公認VTuber)
の仮装で参加しました！



↑農林水産省主催 農業参入フェア
(左:東京会場、右:大阪会場)
出展時の様子

2. 企業参入における本県での推進体制等について

セミナーについて

企業向け

セミナー名:異業種からの農業参入セミナー

趣旨:農業参入に関する情報提供や企業参入支援体制等の紹介をすることで企業の農業参入の促進を図る。

時期:11月頃

場所:常陽つくばビル

→今年度はウェブにて開催予定

対象:農業参入を検討する企業等

昨年度の「異業種からの農業参入セミナー」チラシ

異業種からの農業参入セミナー
2024年11月15日(金)
13時30分～15時30分 受付13時～
会場 常陽つくばビル
主催:茨城県 後援:株式会社常陽銀行
講演
農業の未来とは?アグリベンチャー舞台ファームの取り組み
株式会社舞台ファーム 専務取締役 伊藤 啓一
講師プロフィール
1977年農家の2代目として誕生。2000年東北大学文学部社会学科卒業。大学在学中、遠刈田系にけし工人(参入入り)。大手銀行系カード会社、(株)楽天野球団を経て、2013年4月、(株)舞台ファーム入社。現在に至る。2021年4月～23年3月農林水産省JFP(ローカルフードプロジェクト)推進委員。
株式会社舞台ファームについて
【本社所在地】茨城県仙台市若林区【業務内容】野菜・果物の生産・販売、農産物加工品販売、農業経営に関するコンサルティング
☆茨城県境町と農業者担い手育成・農業振興に関する包括連携協定を締結(2017年3月)
講演
事業計画策定に当たって
NPO法人農業支援センター アソシエイト 富田 浩司
セミナー終了後、個別相談会を実施します!(事前申込制)
農業参入にあたっての手段が知りたい!具体的な計画があるのでも農地を紹介して欲しい!お困りのことがあれば是非ご相談ください!
※当日対応できない場合は、後日、日程を調整の上、対応させていただきます。

開催趣旨
茨城県は首都圏から近く、平坦で広大な農地を有し、温和な気候である等、農業参入をするうえで大変恵まれた地域です。こうした地味を持つ茨城県で異業種の方から農業参入するきっかけにしたいため、セミナーを開催することいたしました。皆様のご来場をお待ちしております。

スケジュール
13:00 受付開始
13:30 開会・挨拶
茨城県農林水産部 農地部長 渡辺 邦夫
13:35 講演
農業の未来とは?アグリベンチャー舞台ファームの取り組み
株式会社舞台ファーム 専務取締役 伊藤 啓一
14:45 休憩
14:55 講習
事業計画策定に当たって
アソシエイト 富田 浩司
15:25 県からの情報提供
農業政策課 就農・農業参入支援室
15:30 閉会
15:40 個別相談会
～16:40 (希望者のみ、事前申込制)

アクセス
常陽つくばビル
(10階 大会議室)
つくば市吾妻1丁目14番地2号
TXつくば駅A3出口から徒歩5分
※会場に駐車場の用意はありません。お車でいらっしゃる方は近隣の有料駐車場等をご利用ください。

申込方法
「茨城県農業参入等支援センターホームページ」または下記QRコードよりお申し込みください。
問い合わせ先
茨城県農林水産部農業政策課 就農・農業参入支援室(茨城県農業参入等支援センター)
電話:029-301-3846
メール:sannyu@pref.ibaraki.lg.jp
申込期限
2024年11月13日(水)17時まで

内容:農業経営が堅調である企業や農業系コンサル企業の代表者等を講師として招待し、「法人が農業に参入する際のポイント」について講演いただく。

市町村向け(今年度初開催)

セミナー名:市町村向け企業の農業参入支援セミナー

趣旨:企業参入事業は市町村との連携が不可欠であり、他県市町村の参入支援事例を本県市町村職員が学ぶことで意識の醸成を図る。

日時:令和7年7月23日(水曜日)14時～15時30分

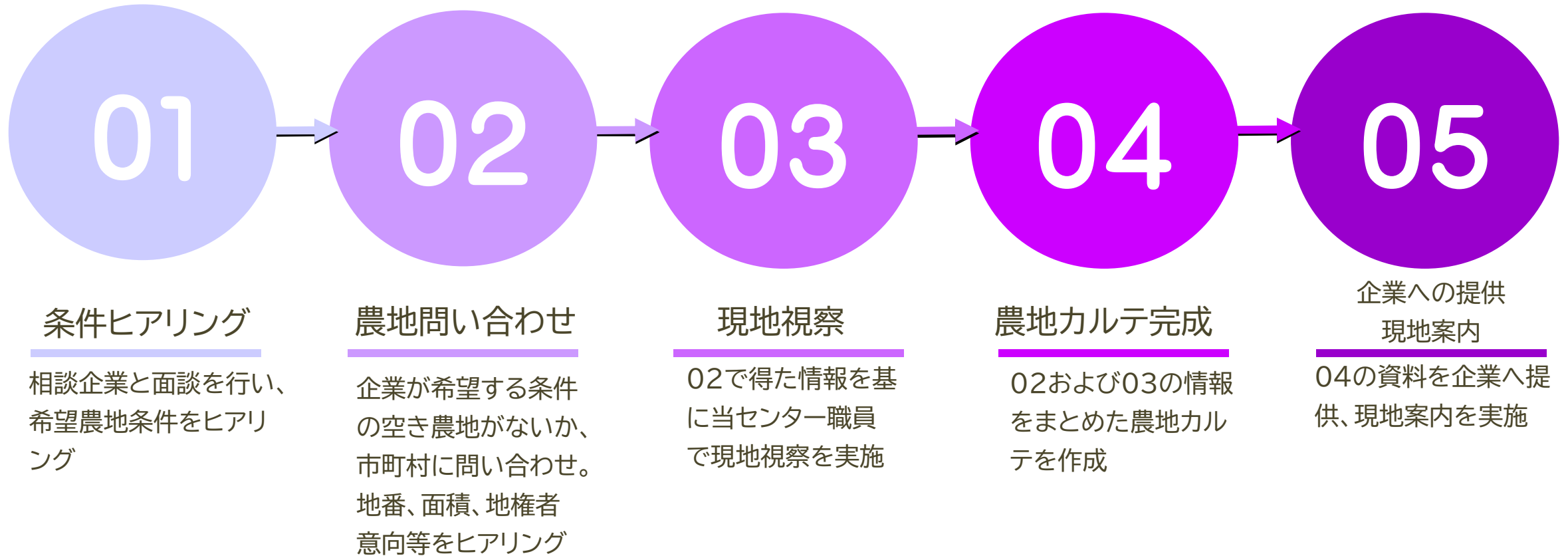
場所:ウェブセミナー

対象:本県市町村の農政主管課、農業委員会等

内容:企業参入に力をいれている他県市町村職員に事例を発表いただき、企業参入における支援のフローやポイントを説明いただいた。

2. 企業参入における本県での推進体制等について

☑ 取組② 農地情報の収集



2. 企業参入における本県での推進体制等について

農地カルテ 様式

農地紹介

茨城県水戸市笠原町の農地について

■代表地番
水戸市笠原町1234

■地目
畑

■農地の面積
5ha

■筆数及び地権者数
30筆、10人

■農地の特徴
〈利点〉

- ・雑草が多少生えている程度で良く管理されている。
- ・接道が広く、2tトラックの進入が可能である。

〈留意点〉

- ・近くに川があり、ハザードマップ該当地域である。
- ・一部地権者の貸出意向が未確認である。

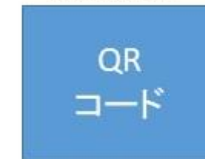
■交通アクセス

常磐自動車道路茨城町東ICから車で10分程度

エリア図



詳細位置



※QRコードを読み取ると
Googleマップにアクセスします。

農地の写真



当センター職員が現地視察に行った際に撮影したものを添付

■その他

- ・本農地情報は市町村からの情報提供時のものであり、地権者の最新の意向などに**変動がある場合がございます。**
- ・また、時間の経過により、**別の農業者が本農地に参入してしまう場合もあり得ますこと**をご了承願います。

2. 企業参入における本県での推進体制等について

☑ 取組③ 各種マッチング

販路支援

各種商談会の案内、一部販路の紹介

その他

各種補助金の案内

人材確保支援

🌱 無料で求人情報の掲載が可能なサイトの案内

(茨城県農林振興公社(茨城県新規就農相談センター)が運営する無料職業紹介を案内)

🌱 県関係機関主催の就職説明会(プレ農業人フェスタ、新農業人フェアinいばらき等)での企業ブース出展案内

●茨城県農林振興公社 (茨城県新規就農相談センター)HP



●就職説明会について



3. 参入企業の事例

☑ 株式会社要建設(業種:建設業)



↑「蕎麦処 まち庵」



↑2025年6月 宿泊施設も兼ねた複合型施設「御前山ビレッジ」をオープン

参入年度:2021年度

参入地域:常陸大宮市

類型:露地

栽培作物:ソバ

面積:約25ha

特色

- ・「健康」をテーマに農薬や化学肥料を使用しない有機栽培に取り組む。
- ・栽培したソバは同企業が経営する「蕎麦処 まち庵」のメニューに活用。

参入のポイント

- ・耕作者の居住地が遠隔地で、営農を断念せざるを得なかった農地に企業が参入。
- ・市から提供のあった情報を当センターから迅速に企業へ提供
→早期マッチングに繋がる。

今後の展望

参入地域にて宿泊施設などの多岐にわたる事業を展開。
地元の雇用創出や地域再生に繋げる。

3. 参入企業の事例

☑ 株式会社日本農業(業種:青果流通)



↑ほ場



↑町で受け入れた
地域おこし協力隊の隊員も企業が支援

参入年度:2023年度

参入地域:城里町

類型:果樹

栽培作物:梨、モモ

面積:約4.5ha(定植面積) ※契約面積は約11ha

特色

- ・ 農研機構と連携し、早期成園化が可能な日本初の樹形で栽培に挑戦。
- ・ 台湾等の海外輸出を視野に新たな産地形成を図る。

参入のポイント

- ・ 町が以前より認知していた担い手のいない農地に企業が参入。
 - ・ 町が地元で意向確認したところ、企業参入に前向きとの回答を得る。
- 県と町で密に連携し参入を支援。

今後の展望

他の農業者(企業も含む)への技術指導も請け負うことで、将来的には参入地にて一大産地を形成を図る。

3. 参入企業の事例

☑ 株式会社ファーマインド(業種:青果流通)

(株)ファーマインド茨城農園

参入年度:2022年度
参入地域:かすみがうら市
類型:果樹
栽培作物:梨
面積:約7ha



↑ほ場

特色

農作業の機械化に対応したV字ジョイント栽培にて、農作業の効率化に積極的に取り組む。

参入のポイント

- ・県関係機関から開発の進んでいない土地改良区の情報提供があり、当センターより企業へ紹介。
- ・当センターが県関係機関と連携し、支援したことで、迅速な参入が実現。

今後の展望

最終的には30haまで農地を拡大し、V字ジョイント栽培を取り入れた農園として国内最大級の規模を目指す。

(株)ファーマ村いちご園 稲敷農園

参入年度:2023年度
参入地域:稲敷市
類型:施設園芸
栽培作物:イチゴ
面積:約8ha

※面積は第1期、第2期工事における合計敷地面積



↑竣工式(2025.4)



↑施設(第1期)
第1期敷地面積:約4ha
第1期栽培面積:約2ha

特色

上下可動式リフティングベンチ※等を用いた高効率なイチゴ栽培を実現。

※上下可動式リフティングベンチ

通路部分の頭上にも栽培ベンチを設置し、最大限に土地を利用した栽培方法。

参入のポイント

- ・市の農業振興計画(IC周辺の農業団地化)を受け、当センターが企業に農地を紹介。
- ・市や県の各機関と連携し、参入を支援。

今後の展望

希少品種(ロイヤルクイーン)等を中心に生産を行い、国内外にて高付加価値なイチゴの流通を行う。更に、今後は残りの敷地(約4ha)にて第2期工事を進め、栽培面積を拡張する予定。

4. 最後に

引き続き、企業の新規参入を支援してまいりますので、ぜひ本県への参入を検討ください。



茨城県
農業参入等
支援センター

はばたく 茨城の農業

農業参入支援等センターは、農業経営や企業参入に関する総合的な相談窓口です。
相談内容に応じた様々な支援を行います。



[支援センターについて](#)[茨城の農業について](#)[事例紹介](#)[問い合わせ](#)

新着情報

- ◆2025/6/9
令和7年度第1回農業経営改善セミナーを開催します！
- ◆2025/1/31
事例紹介「岩崎農園」を公開しま

企業参入したい ▶



相談を希望する企業様は
HPのフォームより問い合わせください。

茨城県
農業参入等
支援センターHP ↓



<https://www.sannyu.pref.ibaraki.jp/>

ご清聴ありがとうございました。

